



ウィスカ (whisker) とは、金属表面に金属単結晶がヒゲ状に自然成長する現象のことです。おもに錫 (Sn) メッキや亜鉛 (Zn) メッキなどから発生します。ウィスカにより隣接する配線がショートすると、電機製品や電子回路、電子デバイスなどの故障原因となります。JTLでは、試験体に冷熱衝撃試験や恒温恒湿試験を実施し、ウィスカ発生の有無の評価が可能です。

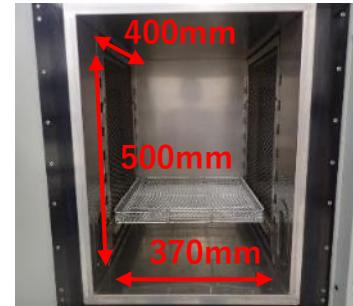
## 冷熱衝撃試験

試験体に高温↔低温の熱衝撃を繰り返し与え、ウィスカの発生を促進します。

### ●装置スペック

高温側：60～200°C  
低温側：-65～0°C

〈槽内サイズ〉



※籠は340mm×330mm、  
Max7段設置可能

## 恒温恒湿試験

試験体に温度・湿度両方の変化を与え、  
ウィスカの発生を促進します。

### ●装置スペック

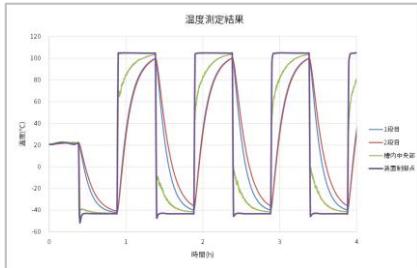
温度範囲：-70～180°C  
湿度範囲：20～98%RH

〈槽内サイズ〉



※棚板は600mm×500mm、  
Max10段設置可能

## 試験結果



〈 温度プロファイル 〉



〈 ウィスカ観察画像 〉

## ▼ お問い合わせ先はこちら

評価技術に関するご質問・ご相談はWebのお問い合わせフォームまで

<https://jtla.co.jp/contact/01/>